

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

声のかけ橋

第54号

(臨時号)

平成29年6月1日発行
豊後大野市議会

18人の議員を紹介 ②

新委員会構成紹介 ③



第4期目の議会がスタート

議長就任のごあいさつ



議長 佐藤 辰己

先般の臨時会で、第六代議長に指名され、身に余る光栄と同時にその責務の重さを痛感している昨今であります。

今回の議員選挙では、議員定数が4名減となったことで18名の議員となりました。これにより、今まで以上に広範囲かつ精力的な議員活動が必要となります。議会と執行部は、車の両輪のごとく、つかず、はなれず市民主導のまちづくりを目指し、より一層住民の代弁者としての活動に努める所存であります。

豊後大野市の政策課題は「定住促進」「産業振興」「環境整備」「教育振興」など多岐にわたります。解決には、行政や議員だけでなく、市民一丸となつての取り組みが必要です。皆さまのご理解、ご協力をいただきながら、議会自らも「提案する議会」「行動する議会」「発信する議会」を目指します。そして市民の皆さまには、これからもご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。議長就任のあいさついたします。

副議長就任のごあいさつ



副議長 衛藤 竜哉

改選後の臨時会で指名推薦により副議長に就任し、身に余る光栄と責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

議長のサポート役として、議会運営等に力を発揮できるよう取り組んでまいります。新人議員が5名加わり、議会としても議会基本条例に基づき、議会報告会の継続、市内各団体との意見交換のさらなる推進など、今後も「行動する議会」「発信する議会」を目指し、市民の皆さまへ分かりやすい議会にすることが使命だと考えます。

また、川野新市長の下、執行部がどのような市政運営に取り組んでいくのか、市議会としての提言やチェック機能を十分発揮しなくてはならないでしょう。市政発展のために、市民皆さまの多様なニーズや社会情勢の変化等を的確に捉え、政策提案・提言につなげていきたいと考えます。

これからも市民皆さまのご理解とご協力をお願いし、副議長就任のあいさついたします。